

WIZBOOK

KZG14X128BK クイックガイド

《本書について》

本紙に掲載された内容は製品及びバージョンによって変更される場合がございます。

記載事項は正確を期すべく細心のチェックが行われていますが、内容の正確性については保証致しかねます。

当社は予告無しに内容を変更する権利を有します。また、本紙内には本製品に付属しない製品の画像や用語も表記されている可能性がございますが、付属品については本紙やパッケージの付属品欄等に記載のあるものののみとなります。他社登録商標・商標をはじめ、本紙に記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

《本製品について》

本製品は一般家庭での使用を目的として設計、製造された民生用の製品です。業務上の長時間使用や車両・船舶への搭載などの業務用途には使用しないでください。

《搭載バッテリーについて》

本製品に内蔵されているリチウムポリマーバッテリーは消耗品となります。リチウムポリマーバッテリーの特性上、使用環境により消耗し充電のパフォーマンスが低下します。バッテリー消耗に関しましては保証期間に関わらず保証対象外となりますのでご了承ください。リチウムポリマーバッテリーを長くご使用になるには過充電と過放電にご注意ください。過充電・過放電ともにバッテリーを非常に消耗しますので、バッテリー残量に関しては20%～80%程度の間をキープしてご使用いただくことをおすすめします。また、一度過放電状態になると、再度ご使用いただける状態になるまで充電に時間がかかる場合があります。

※本製品の充電には、必ず付属の充電用ACアダプタをご使用ください。

《本クイックガイドについて》

本クイックガイド(以下、本書)は、本製品の基本的な使用方法を記載しています。

本製品の仕様および詳細な使用方法是、本製品の製品ページからご確認ください。

KZG14X128BK製品ページ: <http://www.keian.co.jp/products/kzg14x128bk/>

付属品の確認

● PC本体		1台
● 充電用ACアダプター式		1個
● 保証書		1枚
● クイックガイド(本書)		1冊
● WPS Office 2 ライセンスカード		1枚

V.1.0.20210827

ご使用前に「安全上の注意」「ご使用上の注意」「その他の注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」と「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示します。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示します。

⊘ 記号は禁止「してはいけないこと」を示しています。

⚠ 記号は指示「しなければいけないこと」を示しています。

ⓘ 記号は留意点「覚えておくべきこと」を示しています。

※お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

◆安全上の注意

 火気のそば・高温下での使用や、水中への投入、電子レンジやオープンでの加熱などはおこなわないでください。本製品はリチウムポリマーバッテリーを使用しております。リチウムポリマーバッテリーの故障、発熱、発火、破裂の原因となります。

 充電時は付属の専用ACアダプタ以外は使用しないでください。発熱、発火、破裂の原因となります。

 本体を分解、改造しないでください。火災や感電の原因となります。

 歩行中、自動車や自転車の運転中に操作はしないでください。事故の原因となります。



 本製品を医療機器に近づけたり、ペースメーカーをご使用の方の近くで使用しないでください。医療機器に悪影響が出る場合があります。

警告

 本体や付属品に強い衝撃を与えたり、加熱したり、水をかけたりしないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。

 濡れた手で電源、本体、付属品に触れないでください。火災や感電の原因となります。

 使用中は機器が熱を持ちます。電源を入れたまま、素手で同じ場所を長時間持ち続けたり、膝の上で長時間使用しないでください。低温やけどの原因となるおそれがあります。

 開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。

 本製品は日本国内での使用を前提に設計されています。(This product is designed for use in Japan only.) 日本国内の家庭用電源以外で使用しないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。



本体の動作に異常が見られる場合は使用を中断し電源を外したあと、弊社カスタマーサポートにご連絡ください。（煙が出る、においがする、本体が異常に熱くなる、触れるとビリビリと電気を感じる、本体が変形・破損したなど）



航空機内の離着陸時は電源をお切りください。航空機の機器に悪影響が出る場合があります。



落雷の可能性がある場合は、あらかじめ本体をシャットダウンして、電源を外してください。落雷による感電・火災の原因となります。

◆ご使用上の注意



ホコリの多い場所や湿度の高い場所に置かないでください。故障、発熱、発火、破裂、感電の原因となります。



直射日光のあたる場所や暖房器具の前など、高温になる場所で保管、使用をしないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。



本体に強い衝撃や振動を与えないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。



毛布やじゅうたんなど静電気を帯びやすいものの近くや、テレビ、磁石、スピーカーボックスの近くなど強い磁気を帯びた場所には置かないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。



端子部分にホコリや油を付着させないでください。故障、発熱、発火、破裂、感電の原因となります。

電源を取り扱う際は、次の点にご注意ください。



- コンセントおよび本体コネクタから抜くときは、コードを引っ張らない。
- 折れ曲がった状態や束ねた状態で使用しない。
- 屋外で使用しない。
- 布などでくるまない。

故障、発熱、発火、破裂、感電の原因となります。



注意



不安定な場所や地震などによって落下、転倒しやすい場所には置かないでください。落下、転倒により故障、発熱、発火、破裂、けがの原因となります。



液晶ディスプレイを強く押したり、先のとがったものでキズを付けしないでください。故障、発熱、発火、破裂、感電の原因となります。



本製品を設置したり移動する場合は、指などを挟んだり、落下させたりしないよう十分注意してください。故障やけがの原因となります。



タッチパッド部分には必ず指でタッチしてください。先のとがったものや硬いもので操作をおこなうと、本体破損の原因となります。

-  掃除をおこなう場合は必ず電源を切り、全てのケーブルを抜いたあと、乾燥した柔らかい布で拭いてください。その際には化学薬品は使用しないでください。故障、発火、感電、変色の原因となります。
-  充電が終わったら必ず、電源を抜いてください。過充電によるバッテリーの消耗や、接続中のコードに引っかかるなどの負荷により故障、発熱、発火、破裂の原因となります。
-  長期間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。絶縁劣化などにより故障、発熱、発火、破裂の原因となります。

◆その他の注意

-  廃棄する場合は各地方自治体の条例に従って破棄してください。本製品にはリチウムポリマーバッテリーが含まれています。廃棄する場合は絶対に「一般ゴミ」として捨てないでください。

 リチウムポリマーバッテリーの特性上、使用環境により消耗し充電のパフォーマンスが低下します。膨張や充電不良を除くバッテリー消耗に関しましては保証期間に関わらず保証対象外となりますのでご了承ください。リチウムポリマーバッテリーを長くご使用になるには過充電と過放電にご注意ください。過充電・過放電ともにバッテリーを非常に消耗しますので、バッテリー残量に関しては20%～80%程度の間をキープしてご使用いただくことをおすすめします。また、一度過放電状態になると、再度ご使用いただける状態になるまで充電に時間がかかる場合があります。

 熱や水、落下など衝撃による本体の破損やキズ、その他お客様による物理破損は保証対象外となります。

 液晶ディスプレイの表面を押すと色や明るさのムラが発生することがあります。掃除のときなどは爪を立てたり、過度に力をいれて拭いたりしないでください。

 本製品に内蔵されているリチウムポリマーバッテリーは消耗品となります。リチウムポリマーバッテリーの特性上、使用環境により消耗し充電のパフォーマンスが低下します。バッテリーの消耗に関しましては保証期間に関わらず保証対象外となりますのでご了承ください。

 内蔵リチウムポリマーバッテリーの交換はお客様ではおこなえません。ご購入の販売店または弊社カスタマーサポートへお問い合わせください。有償の修理・交換対応となります。（その際にデータ、インストール済アプリなどはすべて初期化されますので、必ずバックアップを取ってください。）

 本製品を長期間使用しない場合は、バッテリーの過放電を防ぐため1ヶ月を目安に定期的に充電をお願いします。バッテリー性能の劣化を防ぐことができます。

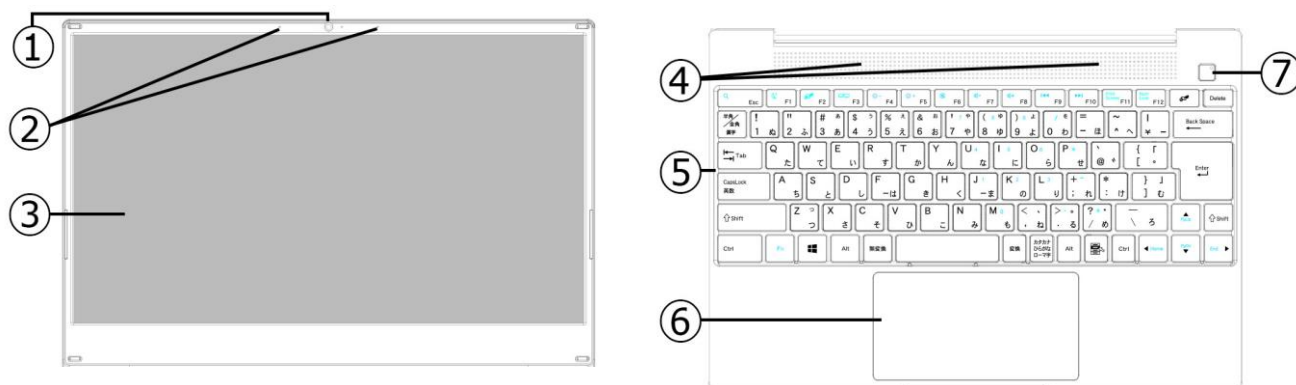
 液晶パネルは、精密な技術によって製造しているため、その特性として、ドット抜けと呼ばれる液晶パネル内に点灯しない画素(黒点)や、いつも点灯する画素(輝点)、明るさにムラが感じられる場合がありますが、製品の故障ではありません。これらは製造技術上、完全になくすることができないものとなりますので保証対象外となります。

＜恵安株式会社 サポートセンター＞

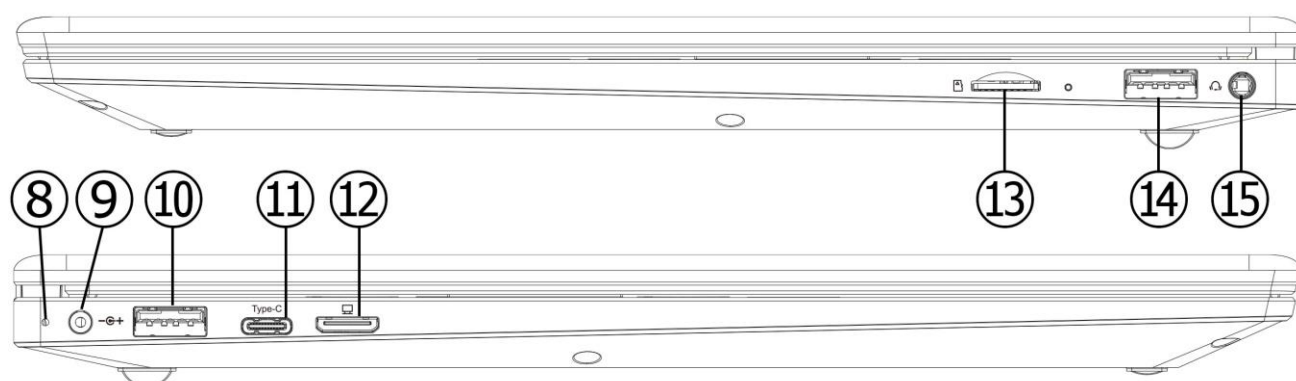
メール: support@keian.co.jp FAX: 03-3980-5327

◆各部の名称 ※画像はイメージです。

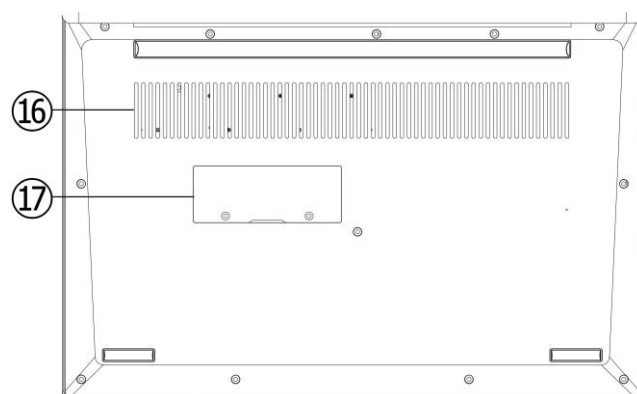
本体正面



本体サイド面



本体裏面

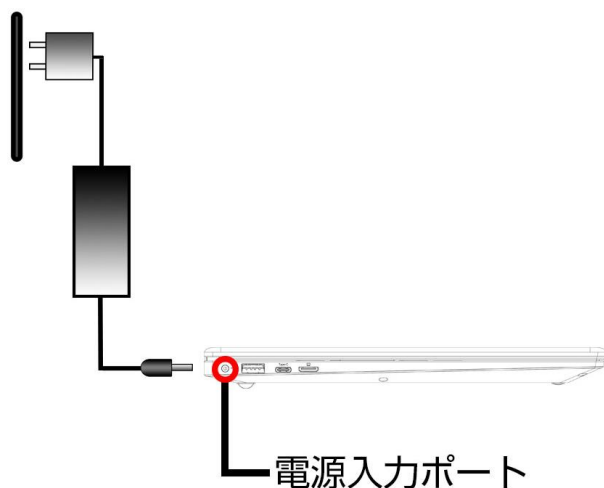


◆各部の説明

①	カメラ	100万画素のインカメラです。
②	マイク	音声の入力や録音に使用します。
③	ディスプレイパネル	画面表示に使用します。
④	スピーカー	音声を出力します。
⑤	キーボード	文字入力の際に使用します。
⑥	タッチパッド	カーソル操作の際に使用します。
⑦	電源ボタン・ランプ	本体の電源を入れるために使用します。 電源を入れると、ボタン上のランプが点灯します。スタンバイ時は点滅します。
⑧	電源入力インジケータ	電源接続状態で充電中のときに赤く点灯、満充電状態の場合は青に点灯します。
⑨	電源入力ポート	本体への充電に使用します。充電の際は付属の充電用ACアダプタをご使用ください。
⑩	USB3.0ポート	マウス、USBメモリなどの外部機器を接続します。USB3.0対応機器を使用することでUSB2.0よりも高速通信が可能です。また、USB3.0対応機器以外でもご利用が可能です。
⑪	USB3.0 Type-Cポート	USB Type-C端子を持つ周辺機器を接続します。
⑫	Mini HDMI出力ポート	HDMI入力に対応しているモニターなどに別売りのMini HDMIケーブルを接続することで、映像を外部に出力することができます。
⑬	microSDスロット	外部ストレージとして別売りのmicroSDカードを使用できます。(最大128GBまで)
⑭	USB3.0ポート	⑩USB3.0ポートと同じ働きをするポートです。
⑮	3.5mm ヘッドセットジャック (オーディオ出力+マイク入力)	イヤホン挿すとスピーカーからイヤホンに音声出力が切り替わります。 また、ヘッドセット(マイク付きイヤホン/ヘッドホン)を接続すると、音声を聞きながらマイクから音声の入力ができます。
⑯	通風孔	本体の熱を放出します。ふとんやクッションなどで塞がないでください。
⑰	M.2 SSDスロット	SATA3 M.2 SSD(B Key Type 2280/2242)を取り付けることができる増設スロットです。(最大1TBまで)

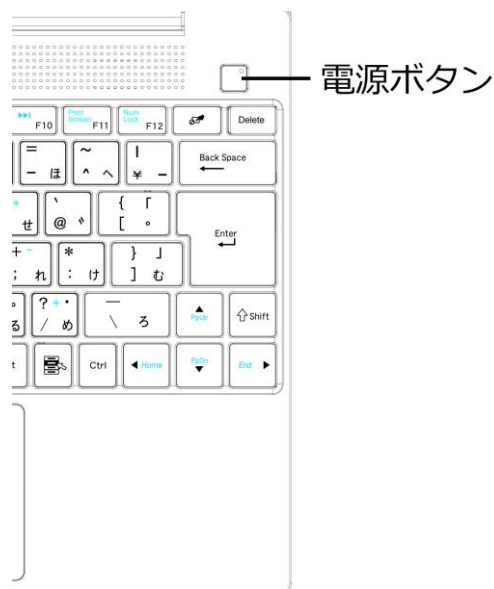
◆ 本体への充電

- ① 本体の電源入力ポートに充電用ACアダプタのコネクタを挿し込んでください。
 - ② アダプタと共に同梱されているコンセントケーブルを充電用ACアダプタに接続します。
 - ③ コンセントケーブルをコンセントに接続してください。
- ※初回使用時は事前にフル充電をおこなってください。
充電の残量にもよりますが、最大で8時間程かかる場合があります。



◆ 電源の入れ方

ディスプレイパネルを開き、本体の「電源ボタン」を電源ランプが点灯するまで長押ししてください。



◆初回起動時

はじめて本製品をご使用の際はWindowsの基本設定をおこなう必要があります。

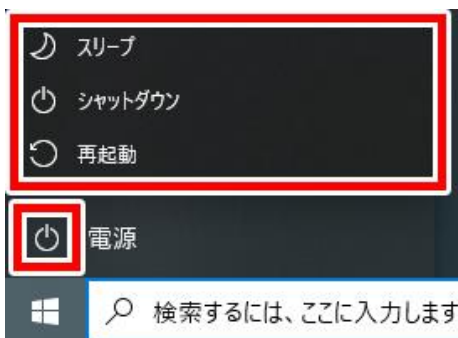
OSのバージョンや、使用される言語などによって若干内容が異なる場合があります。その際は画面上に表示される文章に従って入力をおこなってください。

● 基本設定

- ① 基本設定が表示されます。
 - (ア) お住まいの地域設定が表示されますので、[日本]を選択し右下の[はい]をクリックしてください。
 - (イ) キーボードレイアウトの選択は、初期設定のまま変更せずに、右下の[はい]をクリックしてください。
 - (ウ) [2つ目のキーボードレイアウトを追加しますか?]の画面が表示されます。ご希望に合わせて設定してください。他の言語のキーボードレイアウトが必要ない場合は[スキップ]をクリックしてください。
- ② アカウント設定画面が表示されます。
 - (ア) Windows10使用許諾契約が表示されますので、内容をご確認のうえ、[同意]をクリックしてください。
 - (イ) アカウント設定をおこないます。ご希望のユーザー名、パスワード、セキュリティの質問を設定してください。
 - ※ 本製品では初期設定で無線LANの設定を行わないため、ローカルアカウント設定画面が自動的に表示されます。Microsoftアカウントを使用してサインイン設定をおこないたい場合は、初期設定後「◆使い方・無線LAN(Wi-Fi)の設定」を参考にインターネットに接続後、「Windowsの設定」内の「アカウント」から設定可能です。
 - ※ 設定したパスワードを忘れないよう、管理に十分ご注意ください。パスワードなどを忘れてしまった場合、メーカーを含めた第三者がそれを解除することはできません。
- ③ サービスの設定画面が表示されます。
 - (ア) 「デバイスのプライバシー設定の選択」画面では、各種プライバシー設定が可能です。記載内容をご確認のうえ、適宜設定いただき、[同意]をクリックしてください。
 - (イ) 「Cortanaによる作業の支援を許可する」画面が表示されます。[詳細情報]を選択することでCortanaの概要説明が確認できます。[同意]か[今は実行しない]をクリックしてください。
- ④ これで初期設定は完了となります。すべての設定が終了するとデスクトップ画面が表示されます。

◆使い方・シャットダウンと再起動

[電源 ] をクリックすると、スリープ、シャットダウン、または再起動ができます。



◆使い方 ・無線LAN(Wi-Fi)の設定

※あらかじめ、ご利用のルーターの[SSID]と[暗号化キー]をご確認ください。

1. 無線LAN(Wi-Fi)をオンにする。

(ア) タスクバー右下にある無線LAN(Wi-Fi)のアイコンをクリックしてください。



(イ) 現れたメニューから[Wi-Fi]パネルが青色でない場合は、パネルをクリックしてください。



(ウ) 無線LAN(Wi-Fi)がオンになると、パネルが青色になり利用可能になります。

2. 次に無線LAN(Wi-Fi)の接続設定をおこないます。

(ア) タスクバーにある無線LAN(Wi-Fi)のアイコンをクリックし、表示されたネットワークの一覧から、利用する親機(無線LAN(Wi-Fi)機器)の[SSID]をクリックしてください。

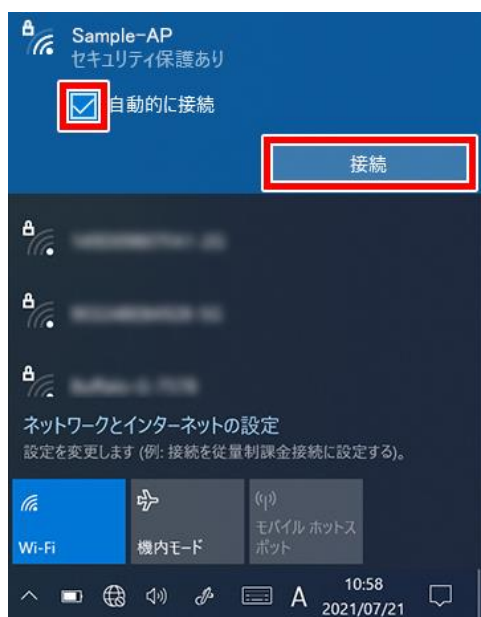


【利用する親機の[SSID]が表示されない場合】

親機の無線LAN(Wi-Fi)機能が有効になっていない、親機の電波が届かない場所にいる、親機がステルスモード（[SSID]が自動的に検出されない状態）になっているなどが考えられます。親機の無線LAN(Wi-Fi)機能がオンになっていることをご確認いただき、電波状態の良好な場所で再度お試しください。

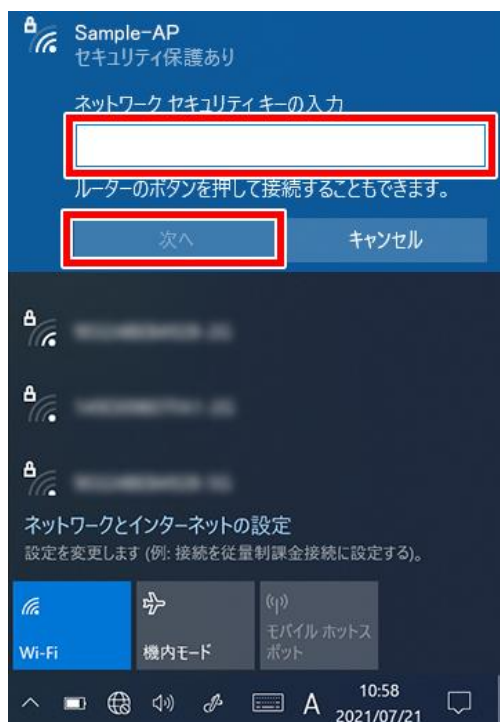
(イ) [接続]を選択してください。

※ 次回から、この[SSID]の電波を受信した際に自動的に接続するようにしたい場合は、[自動的に接続]にチェックを入れます。

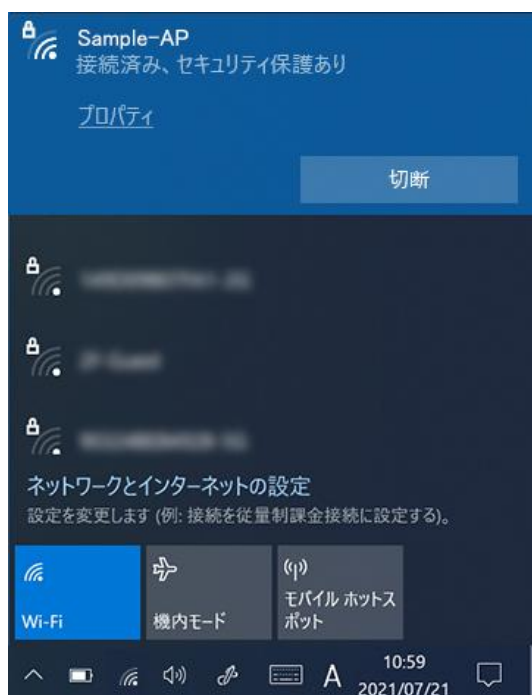


(ウ) [ネットワーク セキュリティ キーの入力]欄に暗号化キー（またはパスワード）を入力してください。入力後、[次へ]をクリックします。

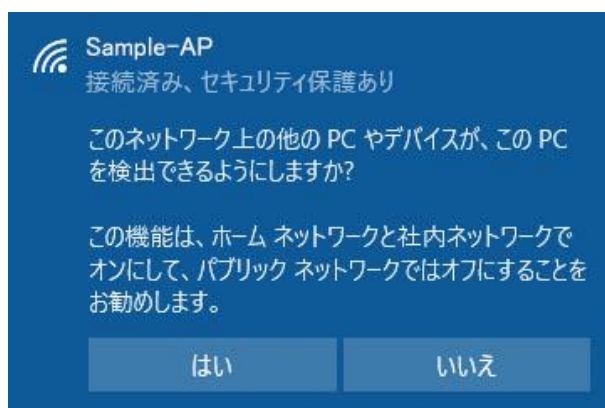
※ セキュリティ保護のため、暗号化キー（またはパスワード）は ● で表示されます。



(エ) 選択された[SSID]が接続状態になっていることを確認してください。



(オ) 下図のような検出設定が表示された場合は、画面の指示に従って検出設定をおこなってください。



以上で無線LAN(Wi-Fi)の接続設定は完了です。

◆使い方 ・WPS Office 2について

● 用意するもの

付属のWPS Office 2 ライセンスカード

本製品がインターネットに接続されている状態で、付属のWPS Officeライセンスカードに記載してあるアドレスからKingsoft社のWPS Office製品ダウンロードページにアクセスできます。そのページでライセンスカードに記載されているシリアル番号を入力することでソフトウェアのダウンロードができます。

詳しいインストール手順やシリアル番号の入力方法、WPS Officeのサポート情報はライセンスカード記載のWPS Office 2 お問い合わせ窓口ページを確認してください。